



輝け！北っ子！

文責：校長 大内雅之



※今回の学校だよりは「広がり」をキーワードで書きました

優しさの広がり ～本を寄贈していただきました～

ある保護者（匿名希望）から絵本を寄贈していただきました。「家で読まなくなつたので、よければ学校で活用してください。」ということでした。大事に活用させていただきます。手続きが済み次第、図書室に置きたいと思ひます。ありがとうございました。

読書の秋、メディアコントロール週間も活用して、親子で読書に親しむのもいいのではないのでしょうか。



あいさつ運動の広がり ～助っ人が助っ人をよぶ～



10月から6年生を中心に校門で行われているあいさつ運動。学校だよりの中で6年生の活躍ぶりや「助っ人」について紹介してきたところですが、助っ人が助っ人をよび、広がりを見せています。

今回の助っ人は5年生と3年生でした。助っ人の3年生に話をきいてみると「自分は朝少し時間があるし・・・。あいさつ運動はいいことだと思ったのでやってみようと思いました。」「時間は短いかもしれないけど、それでもいいことだと思うから・・・」と活動に至った思いを話してくれました。

思いを行動に移すのは、なかなかハードルが高いもの。（ハードルが高いと自分で勝手に思い込んでいるのかもしれませんが・・・）主体的に行動し、気づきを行動に結びつけていく子が増えていることをうれしく思います。

VS（ボランティア・サービス）活動の広がり

～きれいな環境をみんなの手で～



ダメもとで応募していた学校に花の苗をプレゼントするという「第31回花の輪運動（公園財団法人花と緑の農芸財団主催）」に本校が当選しました。全国1870校もの応募の中からの当選で、担当者もびっくりでした。パンジーやビオラ、キンギョソウなど300株もの花の苗をいただきました。本当にありがとうございました。

さて、当たるとも思ってなかったもので、「さあどうしよう」と言うことになりましたが、活動の中心は児童会「栽培委員会」に任せることにしました。とはいえ、300株。早く植え付けなくてはという思いもあり、なかなか委員会の子たちだけでは手が回らない状況となりました。



そこで、栽培委員会では VS 活動の時間に上学年の手を借りることにしたのでした。14日の昼休み、VS 活動の時間を利用して植え付けを行いました。「自分だけでできないことは、遠慮なくみんなの力を借りる。みんなで力を

出し合って乗り切る」こんなことが普通に行われる社会になってほしいと願っています。

子どもたちにとって、今回の活動が「きれいな環境作り」という学び以外にも大きな学びの機会になっていたらいいなと思っています。